

2026年5月15日

各 位

会 社 名 Trailhead Global Holdings株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 高田 十光
(コード：3358、東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役 西田 直樹
TEL 050-5785-8445

通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2026年2月13日に公表いたしました2025年3月期連結業績予想と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 連結業績予想と実績値との差異について（2025年4月1日～2026年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,816	百万円 56	百万円 146	百万円 99	円 銭 2.83
実績値（B）	1,826	△11	82	64	1.86
増減額（B-A）	9	△68	△63	△35	—
増減率（％）	0.5	—	△43.5	△35.5	—
（参考）のれん償却前 営業・経常利益	—	2	96	—	—
（参考）前期実績 （2025年3月期）	1,460	25	34	18	0.59

2. 修正の理由

当社は中長期方針として「多様なジャンルを取り込む総合飲食プラットフォームへの進化」を掲げ、成長ドライバーとなる新ブランドの取得を積極的に推進しております。前回の業績予想発表時点では当事業年度後半に予定していたM&A案件（株式会社KINKA FAMILY JAPAN及び株式会社バーガーレボリューションの連結子会社化）が2025年12月に前倒しで完遂したことにより、これらに伴うのれん償却費（合計約24百万円）ならびにグループ管理体制構築に係る統合関連費用が当事業年度中に集中して計上されることとなりました。売上高はM&A効果により前回予想を上回る結果となりましたが、利益面では当初計画より早期に実行した投資コストが先行したことから、営業利益・経常利益・純利益が前回予想を下回りました。

なお、のれん償却費控除前の営業利益は2百万円、経常利益は96百万円となっており、グループ各社の事業採算は計画に沿って推移しております。

翌連結会計年度（2027年3月期）につきましては、当事業年度に前倒しで取得・統合した全事業が初めて通期で業績に寄与するとともに、株式会社SBWorksのAI・ITソリューション導入によるFL比率の構造的改善、菊水ブランド製品のOEM生産本格稼働、KINKA SUSHI BAR IZAKAYAおよびBURGER REVOLUTIONの海外展開準備の進展など、複合的な成長ドライバーが本格的に動き出す局面を迎えます。これらを踏まえ、売上高

3,600百万円（前期比197%増）、営業利益136百万円（黒字転換）を見込んでおります。引き続き、積極的なM&Aと着実かつスピーディな経営統合を通じてグループ全体の企業価値向上を目指してまいります。

以 上